

島根の観光産業の一翼を担う事業展開 地域貢献する地元資本として高い知名度

1965年創業、飲食店やエネルギー事業、旅館、ドライブステーション（複合店舗）など、地域の観光産業分野にて幅広く事業を展開する。1981年にホテル事業を開始、JR松江駅前や宍道湖畔といった松江市内の好立地にて3拠点5施設を運営する。当地で30年以上ホテル業を営み、地元資本による独立ホテルとして認知度は高い。「地域への社会貢献」をモットーに、食、買い物、宿泊など多彩な切り口で島根の観光産業の一翼を担う。

●所在地	島根県江津市浅利町72	●設立	1965年
●電話/FAX	0855-55-1063/0855-55-0306	●資本金	1,000万円
●URL	http://www.matsue-urban.co.jp/	●従業員数	170人
●代表者	代表取締役 植田 裕一		



インバウンドに対する高付加価値サービスの提供

山陰インバウンド機構と連携し、運営ホテル内にて訪日外国人を主な対象として、書道と生け花の体験教室を実施している。一緒に習う地元住民との交流の場にもなっており、宿泊以上の価値をホテルに加える取組として期待されている。一方では、島根県西部の伝統芸能である石見神楽を上演する専用劇場を、江津市内に昨年開設した。県西部へのインバウンド客の取込と、顧客満足度の向上に寄与する施設として注目を浴びている。



神楽専用劇場で上演される石見神楽

優れた観光資源との相乗効果による地域活性化

島根県は優れた観光資源を有しながら、外国人旅行者の訪問率が全国最低水準にあるが、その一因として、多様な観光スタイルに対応しうる簡易宿泊施設の乏しさが挙げられる。そこで当社が新設したカプセルタイプの簡易宿泊施設は、ゴールデンルートではあたり前にある長期滞在型のインバウンド観光スタイルを当地においても実現するものであり、優れた観光資源との相乗効果や、交流人口の増加など更なる地域経済の活性化が期待されている。



新設したカプセルタイプ簡易宿泊施設

観光コンシェルジュを担うインフォメーションデスク資格取得

民間では数少ない外国人旅行者対応の観光案内所資格である「JNTO認定外国人観光案内所」の認定を山陰の宿泊施設で唯一取得しており、公設の観光案内所の営業終了後などに観光案内所を利用する外国人旅行者に対応している。また、ホテルスタッフが自ら外国人講師を招いて英会話を学びスキルアップを図るなど、交流型の観光案内所としてコンシェルジュ機能を充実させ、付加価値の向上とインバウンド客への対応に積極的に取り組んでいる。



認定取得したコンシェルジュカウンター